

代表質問



豊田耕一

(同志会)

ハーモニアスポリス構想について

問 地域間協調の構想の理念についてはではなく、なぜ今ハーモニアスポリス構想が必要なのか伺う。

答 敦賀港の活性化を見据え、北陸新幹線敦賀開業等の新たな発展の機会を捉え、狭い平野を有効活用し、周辺地域との連携を深めながら産業構造の複軸化を図っていくというものがハーモニアスポリス構想である。本市の長期的かつ安定的な発展のため、産業構造の複軸化及びエネルギーの多元化に向けて構想の推進に挑戦していきたいと考える。

問 構想が原子力からの脱却を意味するものであるのかどうか伺う。

答 構想が目指すべきところは、産業構造の強化、複軸化、エネルギーの多元化であり、その根底には原子力発電との共存共栄がある。構想は、原子力発電を産業、エネルギー政策両面の基軸としつつも、その複軸化や多元化を目指すというものである。

公共交通対策について

問 コミュニティバス利用促進事業の事業内容と目的について伺う。

答 利用促進事業では乗りかえ検索及びバスロケーションシステムの導入とSNSによる利用促進キャンペーンの2つの事業を実施。本システムの導入によって、気軽にバスを利用できる環境を作ることによってバス交通の利便性向上及び利用促進を図ることを目的としている。

問 バスの利用促進、利用増加については学生が大きなポイントになる。実際に学生の利用が促進されてバスの利用者数もふえている。バスが便利だったらすごく助かるなどの声もたくさん聞いているが、本格運行に向けた取り組みについて伺う。

答 通学路線の充実については、市内各学校からアンケートで意見を頂戴したほか、市内各高校、大学生との意見交換会も実施したので、これらの意見も踏まえ、利用ニーズを正確に把握し、可能な限りの改善に努めたいと考える。